大阪府下北河内6市における3歳児検尿について

小林立美，小林陽之助
関西医科大学小児科学教室

＜研究目的＞
三歳時検診における検尿実施及び異常尿の分析。

＜方法と対象＞
大阪府医師会第3ブロック保健所（枚方市，
寝屋川市，門真市，四条畷市，守口市）に実施
協力の依頼し，3歳児検診を行う際同時に検尿
を行った。研究実施期間は昭和57年7月1日か
ら59年6月30日までの2年間とし，尿所見異
常者については昭和60年10月までの結果につ
いて集計し，まとめた。

保健所では保護者に尿検査を委任させ，尿潜血
反応，蛋白，糖，PHの検査（ヘマコンビネステッ
クス使用）を行い異常尿陽性児を判別した。こ
れを一次検査とし陽性児については大阪小児腎
研究会に加入している19病院を総合し，更に
二次検査を行った。二次検査では早期尿検査時
尿についてスルホサリチル酸法，煮沸法による
蛋白定量試験及び尿沈渣検査を行った。蛋白定
性試験（士）以上，何らかの異常が尿沈渣にて見
られた者については要観察とし血液学的検査，
レ線検査，尿培養等を行い要観察と要治療群と
に分けた。

＜結果及び考察＞
検尿については表1に示した様に，三歳児検
診受診者5787名中4586名（79.2％）に実施で
きた。尿潜血陽性者数は70名（1.53％）で，そ
の内男児は18名（25.7％），女児は52名（74.8％）
であった。尿蛋白異常は（土）以上を陽性とした
めか397名（8.66％）と高率に陽性であったが，
その内361名（7.87％）が（土）陽性者であった。
男女比については男児212名（53.4％）女児185
名（46.4％）であった。

以上の一次検尿での結果をまとめてると，異常
尿は455名（9.92％）の児に見られ，血尿，蛋白
尿ともに陽性者は12名（2.64％）であった。455
名の内188名（41.32％）については上記の二次
検査協力病院にこの精査を希望したが，他の者
については近医またはかかりつけの医院での精
査を希望したため追跡結果は得られていない。

また，病院紹介した188名についても実際受診
したのは175名であり，二次検査の結果は表II
に示した通りである。二次検尿にて異常物を示
した者は53名で，二次検尿受診者の30.2％で
あり，この内三次検尿を受けた者は45名であっ
た。約1年間の経過観察の結果，この45名は
血尿群29名，蛋白尿群2名，腎炎の疑3名，
腎炎4名，尿路感染症と思われる7名であった。
なお表IIの右側には同率で455名を分類し
てみた。

以上の結果をまとめてると
1）三歳時検診における保健所での検尿は74.2
％と高率に実施する事ができた。
2）三歳児にて発見される尿路系疾患では，尿
路感染症と思われるものが高頻度に発見された。
今回同三歳児検尿は大阪府医師会勤務医師部
会の協力にて大阪小児腎研究会が中心となり行
なった。
表Ⅰ 三歳児検診における検尿結果
（保健所での）

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>血尿</th>
<th>蛋白尿</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>5787名</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>うち検尿数</td>
<td>4586</td>
<td>(79.2%)</td>
</tr>
<tr>
<td>血尿</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>-</td>
<td>4516</td>
<td>(98.50%)</td>
</tr>
<tr>
<td>+</td>
<td>60</td>
<td>(1.31%)</td>
</tr>
<tr>
<td>＋</td>
<td>7</td>
<td>(0.15%)</td>
</tr>
<tr>
<td>＋＋</td>
<td>3</td>
<td>(0.07%)</td>
</tr>
<tr>
<td>＋＋＋</td>
<td>2</td>
<td>(0.04%)</td>
</tr>
<tr>
<td>蛋白尿</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>-</td>
<td>4189</td>
<td>(91.30%)</td>
</tr>
<tr>
<td>+</td>
<td>361</td>
<td>(7.87%)</td>
</tr>
<tr>
<td>＋</td>
<td>31</td>
<td>(0.68%)</td>
</tr>
<tr>
<td>＋＋</td>
<td>3</td>
<td>(0.07%)</td>
</tr>
<tr>
<td>＋＋＋</td>
<td>2</td>
<td>(0.04%)</td>
</tr>
<tr>
<td>70 (1.53%)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男児</td>
<td>18</td>
<td>(25.7%)</td>
</tr>
<tr>
<td>女児</td>
<td>52</td>
<td>(74.8%)</td>
</tr>
<tr>
<td>185 (46.6%)</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

異常尿児 465 (9.92%)
血尿、蛋白尿ともに異常 12 (2.64%)
病院紹介 188 (41.32%)

表Ⅱ 三歳児検診での1次・3次検尿結果

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>検  導  数</th>
<th>推  判  順</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1次検尿児数</td>
<td>4586</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>異常児</td>
<td>455 (9.92%)</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>2次検尿児数</td>
<td>175</td>
<td>455 (9.92%)</td>
</tr>
<tr>
<td>異常児</td>
<td>53 (30.2%)</td>
<td>138 (3.01%)</td>
</tr>
<tr>
<td>3次検尿児数</td>
<td>45</td>
<td>138 (3.01%)</td>
</tr>
<tr>
<td>漏定診断</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>腎炎の澱</td>
<td>3</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td>腎炎</td>
<td>4</td>
<td>12 (0.46%)</td>
</tr>
<tr>
<td>動脈炎</td>
<td>7</td>
<td>21 (0.46%)</td>
</tr>
<tr>
<td>血尿斑</td>
<td>29</td>
<td>89 (1.94%)</td>
</tr>
<tr>
<td>蛋白尿斑</td>
<td>2</td>
<td>6 (0.13%)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

( )内の数値はそれぞれの症例での受診数に対しての％
( )内の数値は4586名に対しての％
研究目的
三歳時検診における検尿実施及び異常尿の分析。